



時間を有効に使う勉強をするのが中学校 ～さらに身の安全を考えた行動をしよう～

今年は、とても早い梅雨明けとなりました。これから気温が大きく上昇し、本格的な夏を迎えます。暑さに身体を順化させつつ、健康管理に十分気を付けて過ごしましょう。



6月21日は「夏至」、もっと正確に言うと、この日の昼11時42分が夏至の瞬間でした。1年で最も昼時間が長く、この日を境に夜の方が次第に長くなります。逆は「冬至」です。夏至と冬至では昼の時間がどれくらい違うか知っていますか？その差なんと約5時間というから驚きますね。

さて、1学期末テストが終わりました。テスト1週間前から部活動も停止となり、時間を有効に使ってテスト勉強、家庭学習にしっかりと取り組めたでしょうか？早い人はテストに向けて数週間前から、計画的に復習やワークなどに取り組んでいたことでしょう。前回の中間テストの反省を、今回に活かした人は、それは大きな成長ですね。

中学生は小学生の時と比べると、忙しくて大変だ！という声を聞くことがあります。学校生活も多くの教科の学習や行事もありますし、放課後は部活動や習い事、家でもさまざまな役割を果たす時間があることでしょう。自分自身が熱中することに充てたい時間も増えてくるからだと思います。子ども、大人も平等に、1日の時間は24時間です。でも、年齢があがるにつれ忙しいと感じるのは、だれしも共通の感覚のようです。

社会の中では限られた時間で「やりたいこと」、「やらねばならないこと」を考え、適切に時間内に終えていくことは非常に重要なスキル（訓練を通して獲得した能力）です。中学生は大人になる準備期間ともいえますから、指示されて動くところから、自分で考えて時間を有効に使う訓練、勉強期間なのです。君たちが、さらに高校生・社会人になったら・・・と考えると、通学や通勤時間を要したり、遅れなどが許されない時間管理

(タイムマネジメント)が必要になってくるはず。中学生のうちに失敗を重ねながらも、身につけていきたいものです。昼の時間が長いとお伝えしましたが、もう一つ気をつけてほしいことがあります。大阪府の条例(第25条)では、夜間に子どもを外出させない時間帯(保護者の努力義務)が決められています。中学生は16歳未満の青少年ですので、正当な理由がある場合を除き「午後8時から午前4時の外出をさせてはならない」とされています。部活動や塾帰りの寄り道、夜間に出歩く生徒がいる話を耳にします。事故や事件が起こってからは遅いです。危険な場所や時間帯に出かけることのないように、保護者様からもお声かけをよろしくお願いします。

不審者 避難訓練(6月17日)

不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を行いました。今回は、全校生徒と教職員が参加し、「自分の身を守る行動とは何か」を実践的に学ぶことを目的として実施しました。

訓練では、不審者が校舎に侵入したという想定のもと、放送による連絡を受けて各教室で施錠・避難行動を行いました。生徒たちは真剣な表情で教員の指示に従い、静かに行動していました。普段の生活とは違う緊張感の中で、「落ち着いて行動することの大切さ」や「自分の命を守るために何ができるか」を体感できたようです。

訓練後には、各学級で振り返りを行い、避難の仕方や万一のときに取るべき行動について話し合いました。また、教職員も連携の確認や対応の見直しを行い、安全確保の意識を新たにしました。今後も、さまざまな緊急事態を想定した訓練を継続的に実施し、生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校全体で備えてまいります。

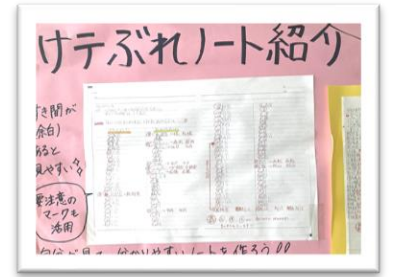


「けてぶれ」を取り入れた家庭学習をスタート!

本校では、子どもたちが自分で学習をふり返り、力を伸ばしていくことを目的に、「けてぶれ」という学び方を取り入れています。「けてぶれ」は、「け(計画)・て(テスト)・ぶ(分析)・れ(練習)」の4つのステップで学習のサイクルを回していく方法です。まず「け(計画)」では、何を・どれくらい・どのように学ぶかを自分で考え、「めあてをもって取り組む」ことを大切にします。次の「て(テスト)」では、問題を解いたり、ノートにまとめたりしながら、理解度を確かめます。「ぶ(分析)」では、うまくいったことや間違えたところをふり返り、「なぜそうなったのか」を考えます。そして最後の「れ(練習)」

では、分析から見つけた弱点にしばって、学び直しを行います。

子どもたちはこの流れにそって、「凜チャレノート・けてぶれノート」に日々のふり返りを記録しています。たとえば、ある生徒のノートには【計画】月～水は問題演習、木金はプリントで暗記、土日は再チャレンジ。【テスト】30問中29問正解。【分析】当てずっぽうで1問正解していたので、実質2問ミス。きちんと覚えきれていなかった。【練習】実際にノートに漢字を書いて覚える、という記録がありました。



どのノートにも共通しているのは、「うまくいかなかったことを次にどう生かすか」を前向きに考える姿です。失敗や間違いを「ダメなこと」ではなく、成長の材料としてとらえようとする気持ちが伝わってきます。ご家庭でもぜひ、お子さまのけてぶれノートをご覧いただき、「自分で考えて取り組んでいるね」とあたたかく声をかけていただければと思います。

(6月30日)救命救急講習と熱中症対策

教職員を対象とした救命救急講習を実施しました。緊急時における対応力を高めることを目的に、胸骨圧迫やAEDの使い方、意識・呼吸の確認方法など、一次救命処置の基本を学びました。講習では、心肺蘇生法の実技を行い、実際の場面を想定した演習に真剣に取り組みました。



また、7月初旬とはいえ、連日の高温と湿度により、熱中症のリスクが非常に高まっています。本校では熱中症予防の一環として、毎日9時・12時・15時の3回、WBGT(暑さ指数)を計測し、その結果を職員室で全教職員と共有しています。大阪府に熱中症アラートが発令され、WBGT値が高い場合には、屋外での体育や行事練習、昼休みの校庭遊び、部活動について、内容の変更・時間の短縮・中止や延期といった判断を行います。たとえ数値が基準を下回っていても、水分補給や休憩をこまめに取り入れながら、熱中症予防に努めてまいります。ご家庭でも、朝食や十分な睡眠、体調の確認など、熱中症予防へのご協力をよろしくお願いいたします。学校と家庭が連携し、子どもたちの命と健康を守っていけるよう今後も努めてまいります。